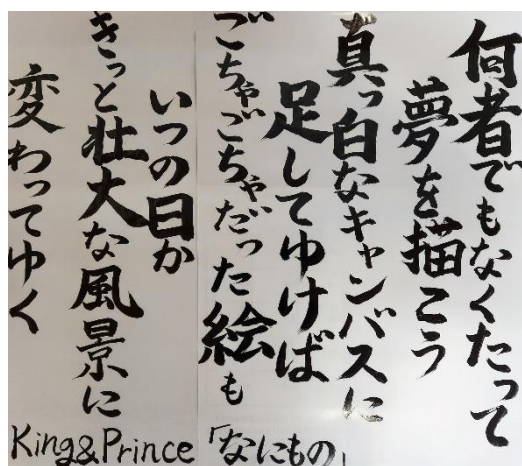


慶念寺々報

つなごがり

慶念寺の掲示板 第三十二回



「なにもの (king&prince)」

今月は曲の歌詞の一部分です。この4月で娘は新一年生に。息子は年中さんに。2人も新たな一歩を踏み出しました。周囲にも、新生活へ一歩足を踏み出した方が沢山いらっしゃると思います。今月の掲示はそういった方々へのむけてのエールのような気持ちで書かせていただきました。

私は幼いころ、自分はひとかどの人間だと思っておりました。しかし、成長するにつれて沢山の大きな壁にぶつかり、「自分には特別なものは無いんだ」とうなだれ



たこともありました。しかしその時その時に夢を描き、時にガムシヤラに、時に怠惰に歩んできたからこそその自分があります。幼いころに描いた夢の形ではないけれど、沢山のご縁に恵

まれて今の自分があると実感する毎日です。

この歌は、昨年4月から放送されていた

「だが情熱はある」というドラマの終盤のエンディングテーマでした。ドラマの内容に連動してエンディングテーマが変わったのですが、この歌を初めて聞いた時には鳥肌が立ちました。その時期は、宗教法人の設立総会と同じ時期。慶念寺を川崎多摩布教所として開設した時は、仏具1つ無い真っ白な状況。それでも、ガムシヤラに走り続けてきてようやく宗教法人設立への道筋がついてきたところだったのです。ひたすら慶念寺を描き続けて、ようやく迎えた設立総会。開設当

の私から見たら、想像もつかないような光景が目の前に広がっていました。若くたって、年老いていたって、私達はまだまだキャンバスに描いている途中です。時に誰かに手伝ってもらい、時に誰かに汚され、時に自分で描き、時に自分で汚す。描きたくないものも描いてきたかもしれない。でも、それで出来上がった今は、私だけのかげがえのない今なのです。それぞれ、たくさんのご縁に育まれて今の自分がある。



これから希望に胸いっぱいな若者にはこれからを夢見て。年長者の方々には今までの沢山のご縁を振り返る。もちろん今から夢



を描いたっていい。

そして、私達の絵が完成するころにはそれがお浄土の仏様として描かれるのです。

築地本願寺の慶讃法要に出仕しました

四月二十六日から二十

九日まで、築地本願寺で

親鸞聖人ご誕生八百年立

教開宗八百五十年慶讃法

要が勤まりました。

住職は築地本願寺雅楽

会の一員として主に奏楽

員(そうがくいん)として

て出仕をしてまいりました。

住職が担当したのは

法要開始前の献花・献茶

式での笙の主管(上の写真)。演奏していた

ため配信は観ておりませんが、たぶん結構し

っかり映っていたのではないかと思います。

五十年に一度の大法要に、一般僧侶として

ではなく、役目をもった奏楽員として携われ

たことは大変名誉なことでした。

そして、この大法要ですが、慶念寺の所属

している神奈川組(「かながわそ」:川崎と

横浜の一部のお寺の集まり)でも十二月十四

日にお勤めをいたします。慶念寺でも参拝を

いたしますので、ぜひご予約ください。大勢

の僧侶が同時にお勤めをするさまは圧巻です

し、協賛行事もとても楽しいものになりそう

です。具体的にはまだ明かせませんが、今を

ときめくお笑いコンビがやってくる予定です

です。お楽しみに!



第十五回公開講座を開催します



昨年十一月の開催から、諸事情があり期間が開いてしまいました。五月二十一日に公開講座を開催いたします。今回は『歎異抄』第十七条をたよりに、浄土真宗で大切にされている「浄土三部経」を学んでまいります。

今回で十五回目となったこの公開講座ですが、ご講師の南條了瑛先生が「初めての方面でも大丈夫ですよ」と優しく易しくお話をしてくださいませ。『歎異抄』は人気の書物ですが、その分信用できない解説書もたくさん出版されています。是非、この公開講座で安心して学んでください。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年五月二十六日(日)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々娘も参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありましたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

五月十九日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「宗祖降誕会法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

年度が変わって色々とする事に追われています。宗教学人格を得たからこそ、やらなければならないことなどもあり、慣れるまであと何年かかるだろうなあ。と考えています。そして、実はこの寺報を作っているパソコンがニューマシンの替わりました。

それによって、毎日何かしらの問題が起きています。一番困ったのがメールの送受信問題。解決するのに少し時間を要しました。こちらも、慣れるまでにはもう少し時間がかかりそうです。

さて、この寺報が届くころには築地本願寺の慶讃法要も終わっておりますが、慶念寺では神奈川組の慶讃法要に向けて、お勤め強化年間として法話会で、お勤めを練習しています。声を出してお勤めするっていうのもです。みんな初心者なので、カラオケより楽しいかも。健康にもいいかもですよ！



浄土真宗本願寺派

歓喜山 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenii.com/>



慶念寺ホームページ QR コード